

ピースクラブ通信

No. 6

発行 社会福祉法人・ピースクラブ
 〒556-0014 大阪市浪速区大國一丁目11-1
 住所
 連絡先 Tel & FAX 06-6647-2077
 Eメール peaceclub@st.dion.ne.jp

今年のテーマ・光をあてる

本物を求めて

新年早々、友達が交通事故で亡くなった。同じような喫茶店、おかし工場、介助派遣など「障害者」と共に生き、働く場をつくってきた。韓国にもフイリピンにもイタリヤにも、いっしょに出かけた。何とか、日本の中で「障害者」がまっとうな賃金で働いて、同僚として生きていく世界を作り出そうとがんばってきた人で、これから、もっともつ

と切磋琢磨しようとしてきた仲間だけに、残念でならない。
 その彼女の死が受け入れきれないまま、また八尾の「ゆうとおおん」で幼児を歩道橋から落とすという事件が起きて、びっくりの連続で、自分が、どう奮り添って、いっしょに共有しながら解決していくか。及ばずながら、問われていることに自分の生き方をかけよう



今年もよろしくお願ひします！（キジムナー・スタッフ）
 左からゆりえ、友ちゃん、亮二、ゆかりさん、あいちゃん、郁也

と思っている。

地域で、だれも排除しな

ピーコラ

かじさんも書いていますが、宇城先生の講座は身体感覚としてよく分かるような気がします。介助される側

においても確かに「ある」と思います▼理屈をつけて納得するつもりはありませんが、光をあてるには、相手と真正面から対峙し、相手を認識し、尊重しなければなりません。これは介助するほうと、される側との関係と同じだと思えます▼幸い自分は体重が軽いのですが、それでも抱えてもらうとき、できるだけ軽く持ち上げてもらうように念じ、少しはそうなっているような気がします。また言語障害があるのですが、大勢に向かって話していても、その中のただ一人に通じるように話すこともできるよ

いで、共に生きていく。その時の自分達の覚悟を、願望だけでない日々の取り組みの中で、当事者とながつながっていく、大きな愛のエネルギーでのり越えていく。そのため、自分たちがいかに豊かに生きていくか。

地球の温暖化の果ての氷河期突入で、地球がつぶれるのは秒読みらしい。この間の天災は今までの記録をどんどん塗り替えている。自分の身辺でも、阪神大震災や津波など、数えあげればきりが無い。磁場が狂っていることと、

この間の犯罪も無縁とは思えない。

昨年末には、宇城憲治先生に、武道を日常生活（私達の場合、介護の時など）に生かすというワークショップをしていただいた、気を通す立ち居振る舞いが、びっくりする力を出すし、私達でも「光をあてる」という

を大切にしたい。今ある命を最大限楽しみ、生かす。そういう大いなる仕事が出来ると、感謝している。

今年も、本物の出会いを求めて、ピースクラブの面々と、あちこち出かけていきます。とりあえずベトナムへ！

(大西 洋子)

□うな気がします▼しかしそうしたこともお互いの人間関係があつてのこと。宇城先生のお話は、その関係をいかに積極的に造り出していかを教えてくださいました。武道の達人はもちろん無理でも、介助される達人には、少しでも近づきたいものです。(普)



3階のお昼時

今年もどんなドラマが繰り広げられるのでしょうか

「光をあてる」を今年のテーマに、本物の礼節

物も、力でなく簡単に持ち上げられるのを体感した。手品のようで、きつねにつままれた感じだったが、体の底に、今も余韻が残っている。世界中をとびまわって、世界の一流陣を教えておられる先生が、私達に伝授してくださった意味をかみしめている。



1月25日の会議です。議事録も何もない会議ですが、当直制などについて話し合われました。

ピースのパンをよろしく

千原千鶴

今年からパン工房は、ピースクラブの一員となります。ボツポの大国町店として頑張ってきましたが、よりいっそうの飛躍を求めて仲間たちと、歩んでいきたいと思っています。

パン屋の朝は早いです。2時とか3時には、もう明かりがともります。天然酵母のパンは、手間も時間も

かかりますが、おいしくて安全なパンをつくるのに手はぬけません。でもおおらかにいこうと思つてます。

グルメのためのパンではなく、毎日食べるおふくろの味のパンを、めざしています。ときに大きかったり小さかったり、季節で味も変化しますが、飽きのこない家族の味です。そういえば天然酵

母のパンづくりは子育てにも似てて、思つたようには焼きあがつてはくれませんが、普通のパン工場のように、きめられた手順で毎日同じパンができるという訳にはいきません。でもパンを見つめる僕たちのまなざしには、ゆっくりと答えてくれる様な気がします。

7時半になると、しんちゃんの出場です。いきなり、チーズトーストとホットコーヒーと大きな声で言つて、まずは朝飯です。しんちゃん

は、この二ヶ月で急速に仕事の腕をあげました。はじめの頃は、袋詰めしたパンを段ボール箱につめるのも、独特のこだわりで、まったく前には進みませんが、いまは、小鳥がさえ



パン工房のスタッフ

ずるような、ちいさな声でリズムをとりながら、どんな仕事を進めていきます。平和主義者のまさみち君には、なぜか強気で、まさみちが、遠慮がちに、気合いのかけ声をだすのが、気にならないくて、10倍くらい大きな声でけん制します。しんちゃんの声のほうが、迷惑なんやでとさとしても、まるで聞く耳をもちません。でも、まさみちも、気をと

【これからのスケジュール】

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1月28日 (日) | 新年会 (もちつき)
成人祝い (大賀君) |
| 1月30日 (月) ~ 2月3日 (金) | 砂糖キビ刈り援農 (宮古島) |
| 2月中旬 | 砂糖キビ刈り援農 |
| 2月25日 (日) | 健康についての講演会 |
| 3月16日 (金) ~ 19日 (月) | 沖縄伊江島・平和学習会
塩平紀子さん追悼準備会 |

*今年からこの通信の発行は1月、3月、5月、7月、9月、11月の隔月の発行となります。変わらぬご愛読をお願いいたします (編集担当: 中村晋作)。

りなおしては、得意の昭和歌謡を熱唱します。まさみちが歌う演歌やポップスは、ピースのパンのかくし味です。1つのパンを作るのに、普通4時間くらいの行程なのですが、24時間かけて、ゆつくりとパンを作ります。おいしい物を作るのには、時間がかかるし、ゆつくり大きくなりなるといふ気持ちもあります。パンがホイロの中で眠るとき、聞こえてくるのは、クラッシックなどではなく、まさみちの昭和歌謡というわけです。今年はずっと大勢のひとたちのなかで、パンを焼きたいです。楽しいよ。

(By しげちゃん)

いつだったか、学校から帰った岳が私に聞いた。

「お母さん、芽衣ちゃんがね吉郎は障害者?と聞いてたよ。吉郎は障害者なの?」と聞くから、「吉郎に聞いてご覧?」と言うと、吉郎に向かって「吉郎。吉郎って障害者?」と聞くと、吉郎は「障害者違う!」と大声で何度も繰り返す。「吉郎は障害者じゃないから、芽衣ちゃんにちゃんと説明してよ。」と岳に一言いうと、頭をふりふり「分かった。」と返事。岳の学校では吉郎はちよつとした珍しい有名人。慣れる事はすごい事だと思ふ、岳の同級生は今では吉郎の事は気にもせず遊びにやってくる。

吉郎は12月12日で宮古島に来て丸2年になった。

吉郎と全く初対面の私、毎晩数分おきのトイレ通い、バツタン!バツタン!閉めるドアに夜中の格闘!食事は立って座り、歩き回っては食べ、

「羨」なんてものは吉郎の中には全く無かった。宮古の生活にも少しづつ慣れると散歩が始まった。昼食後休んでいると、「お宅にいる男の子、Aコープで自動販売機を蹴り飛ばしてますよ。怖いよー。」と名前も乗らずに電話。又、20才ぐらいの男の子、「おぼさんの所の丸坊主の男の子、家の倉庫で遊んでるんだけど・・・。」と呼びにきた、行って見ると飲み残しのレモンティーを片手に、こーうん機の鏡を見て機嫌よく遊んでいて私の顔を見てさめてしまう。つい最近は、

みやこじま 宮古島だより

吉郎製作のカードを持って、「うおー!」と猛スピードで走る吉郎の先に立っていたオバーが、吉郎の持つていたカードをカミソリと間違え「今日、自分はこの子に殺される。」とマップヤーを落とした。あんな子を放し飼いにしないで欲しい。と役場に言っ行って行ったか・・・。

後で聞くと笑い話になってしまいうけど、その度その度に吉郎と謝りにいき、吉郎を角まで追い詰めハエ叩きをもって格闘!・・・それが、この頃は何か違う、何かが変わってきた。おいてあるお菓子もかつてに食べない。「分けて食べる?」と必ず岳と分けて食べる。冷蔵庫の飲み物も、飲んでいか必ず聞く。夜のトイレ通いも大分減ってちゃんと寝る様になった。何よりすこいのが頭をなぐつてた自傷行為がほとんど無い事。私が吉郎に慣れたのではないよ。吉郎が私の扱いを覚えたのかも?近所の人は「おはよう!」と声をかけ吉郎の返事を聞くまで待つようになつた。私の母親は、吉郎を孫のように扱いつても吉郎に分けてあげる。吉郎がおりこうさんになるなんて何でだろうな?不思議だな?

「吉郎、ハエがおるからハエ叩き取って。」と声をかけると、吉郎は「イヤ!」と言って絶対取ってくれない。どうやらハエ叩きは自分をたたく道具と思つてるらしい。

あさこ